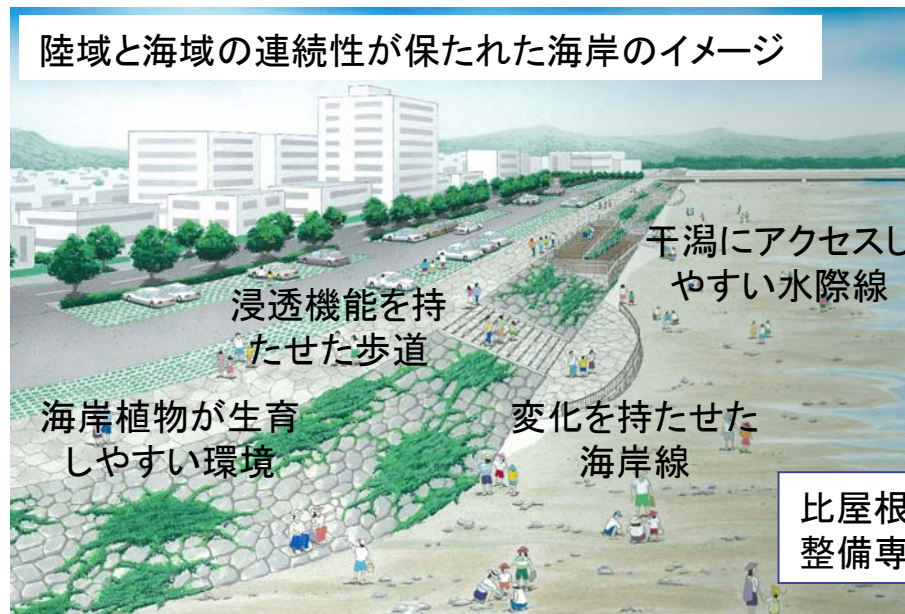


## 人工島及び周辺における環境整備の例(その1)

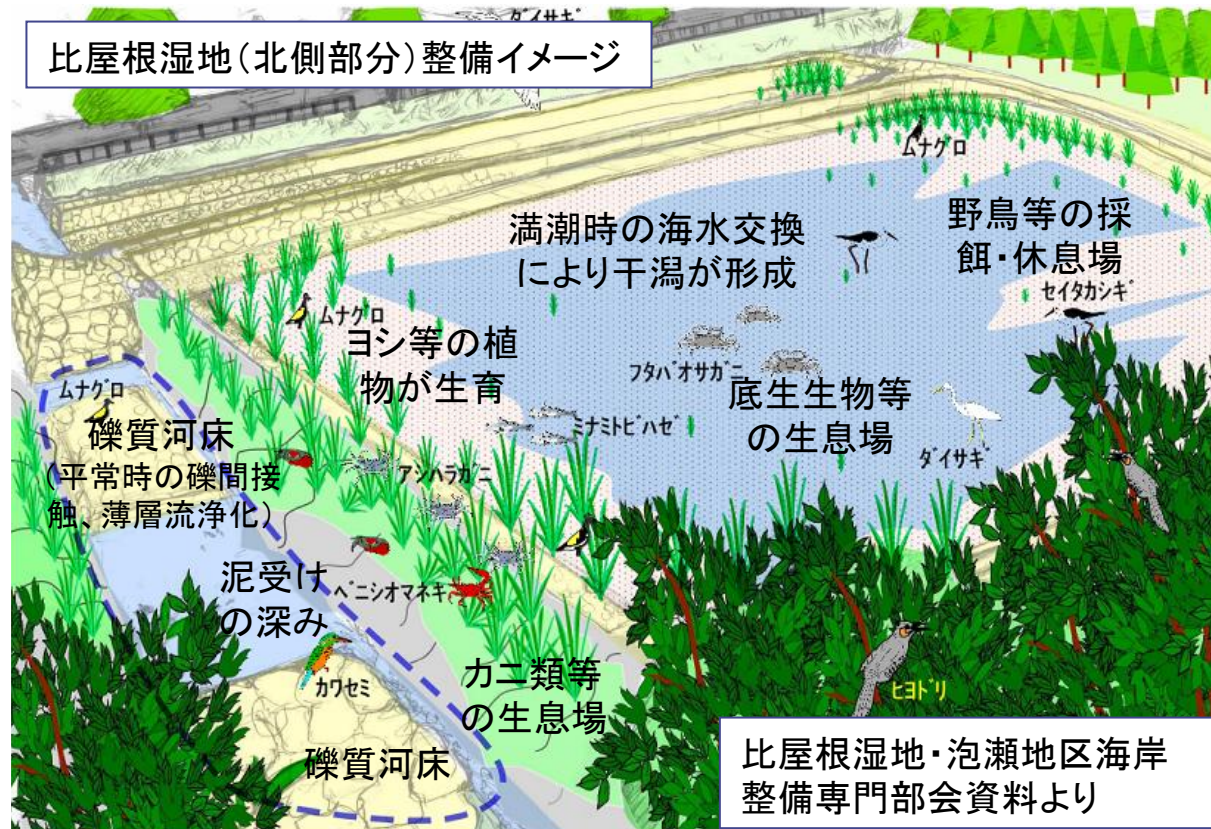
- 人工島及びその周辺においては、環境の改善と向上を図るとともに、かつてあった原風景を取り戻すなど、自然環境を回復あるいは新たに創出する様々な取り組みを行っていきたいと考えています。
- このため、人工島に計画されているビーチや干潟、野鳥園などのほか、比屋根湿地について、かつての機能を回復しながら市民に親しまれるような環境を整えたり、陸域と海域の連続性が保たれた海に親しみやすい海岸を回復・創出するなど、人工島及び周辺地域の環境整備を行っていきます。



比屋根湿地・泡瀬地区海岸  
整備専門部会での検討より

## 人工島及び周辺における環境整備の例(その2)

- 人工島の対岸に位置することになる比屋根湿地については、陸地化して海水の侵入がほとんどなくなった区域での土砂の浚渫などを計画しています。これにより、底生生物や野鳥等の生息場の面積が拡大するとともに、水質浄化機能が向上するなど湿地機能の再生が図られます。



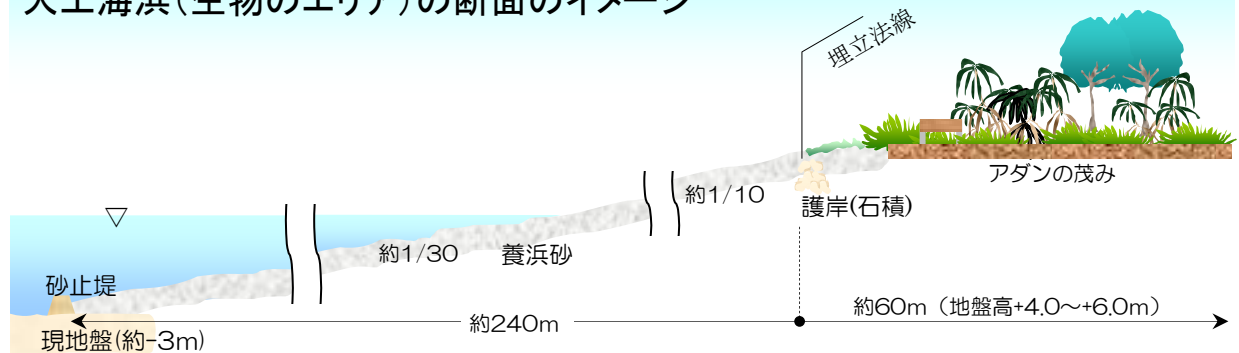


# 人工島及び周辺における環境整備の例(その3)

- 人工島には自然海浜に類似した砂浜(ビーチ)が整備されます。ここでは、オカヤドカリなどが生息する自然環境豊かな生物のエリアのほか、遊びのエリア、憩いのエリア、学習のエリアなど、約800mという長大なロングビーチの特色を生かし、多様な活動が楽しめる環境を創出していく予定です。



人工海浜(生物のエリア)の断面のイメージ



憩いのエリア(イメージ)



人工海浜専門部会  
資料より